

2月13日朝会の校長の話(概要)

先週、近隣の小学校の5年生が集まってビーチボールバレーの大会がありました。ビーチボールバレーは、バドミントンのコートとネットで、バレーボールのようにチームでボールをつないで相手に返して、得点を競い合うスポーツです。相手がボールを落としたり、うまく繋げられなかったりすると得点が入ります。つまり、いかに失敗しないかが勝敗の分かれ目です。でも、この失敗しないというのが難しいのです。相手は強いボールや変化するボールを打って来るし、味方からのパスも思うところに来ないことも多いからです。最終的に失敗した人に注目が集まりがちなので、失敗すると、次のプレーが怖くなります。涙が出そうになります。そんなとき、皆さんはどんな言葉をかけますか。言葉には、マイナス言葉とプラス言葉があります。プラス言葉は「ドンマイ!」とか「次がんばろう」とか「あきらめるな」とかいろいろあります。ビーチに参加した子たちも4年生の頃は体育の時、マイナス言葉が多かったのですが、プラス言葉が増えてきました。とても成長していると感じました。このあと、長なわの表彰もありますが、長なわも失敗したとき、注目が集まります。でもそんな時に仲間にかける言葉が大切なのです。今年も何回も記録を更新しながら頑張ったと聞いています。その裏にたくさんのプラス言葉があったことと思います。学級の生活の中でも仲間を褒めたり励ましたりするプラスの言葉をたくさん使っていきましょう。